

クラス番号	618	担当教員名	寺澤 法弘
テーマ	現代社会における精神保健福祉 PSW の視点からの取り組み		
著書・論文 研究課題等	<p>【論文】「精神障害を持つ当事者におけるリカバリーに関する研究—N市内の精神障害者小規模作業所を利用する当事者への調査から—」（平成 17 年度修士学位論文） 「WRAP(元気回復行動計画)より得られる体験の意味—WRAP 名古屋の実践を通して—」日本福祉大学社会福祉学会「福祉研究」（第 105 号） 「WRAP(元気回復行動計画)集中クラス参加が、その後及びぼす影響—集中クラス参加後の実態調査—」日本福祉大学社会福祉学会「福祉研究」（第 106 号）</p> <p>【研究課題】精神疾患当事者・家族におけるリカバリー、</p>		

ゼミナール概要

キーワード：精神保健福祉 PSW リカバリー 家族支援

目的、内容、方法等：精神保健分野で活動するソーシャルワーカー（以下、PSW）に対して社会から寄せられる期待は大きくなりつつあります。又、当事者からは単なる退院支援だけではなく就労、就学、結婚、出産、育児までを視野に入れた、その人の人生全体に対する、かかわりが求められているといっても過言ではないと感じます。ゼミでは皆さんが将来SWとして活動することを前提にして、様々な状況（人・機会・場）に関わる力を身につけることを最優先に考えます。その為には、1. 状況を見極める力、2. 他者とかかわりを持てる力 3. 自分の考えをまとめて伝える力の3点の修得を目指します。

授業計画：（詳細はゼミ生と相談して決めます）

3年次では精神保健福祉に関する様々な体験を通じて、SWの基礎力を身につける、卒業論文における自身のテーマを見つけて執筆への取り組みをスタートさせることを目指します。前期はゼミ生個々による施設見学と個別の研究テーマに関する発表会を実施します。夏季休暇中は前期の学びを踏まえて施設見学をゼミ生個々で1ヶ所以上行います。後期は各自の体験発表、卒論作成に向けて各自が深めたいテーマについての学び、合宿（3年生 春期休暇中に実施）をします。4年次は個々の卒業論文執筆を中心にゼミを運営します。国家試験受験対策はゼミ生が手分けして主体的に取り組むことを勧めます。

2年間通じてのお願いです。ゼミ生個々の積極的な取り組みを期待しています。大学外で開催される研修会への参加、施設や家族会の見学、ワークショップ(SST・WRAP)体験、精神科医療機関で開催される行事への参加等も活用して下さい。様々な体験を積むことにより自分の関心のあるテーマを深めましょう。

精神保健福祉士受験資格取得以外を目指す学生も歓迎します。精神保健福祉に関することをテーマとしますので、精神保健福祉分野に興味・関心があり学びを深めたい皆さんの姿勢を期待します。

担当教員からのメッセージ



日本では精神疾患を発症した体験があると、自分の能力を十分に発揮することが難しい社会の状況にあるといえます。一方では「疾患を経験したからこそ体験できる事もある」と精神疾患の体験者は発言し、多くの方がリカバリーの道を歩んでいるといった事実もあります。ゼミでは人に関わる機会が多くあります、関わることに喜びを感じる学生を歓迎します。エントリーシートには自己紹介（将来の進路希望）とゼミへの志望動機を具体的に記載して下さい。ゼミの時間は皆さんの積極的な取り組みがなければ進めません。全員においてゼミの体験が各々の役割を果たし、協力して取り組む機会になることを目指しています。

私は精神障害小規模作業所・精神科病院のPSWとして名古屋市内で実践を積んできました、今後は皆さんと現場をつなぐ役割も担っていきます。